小池 真理子

こいけ　　まりこ

1952 年 10 月 28 日東京生まれ。成蹊大学文学部英文文学科卒業。
編集者、フリーライターを経て、78 年に初めてのエッセイ集『知的悪女のすすめ』を発表、ベストセラーを記録する。
以後、エッセイストから作家に転身し 85 年初のミステリー長編『あなたから逃げられない』を発表してからは、心理サスペンスの新しい書き手として注目をあびる。
89 年には『妻の女友達』で第 42 回日本推理作家協会賞短編部門を受賞。
長短編を問わずに優れた作品を次々と発表する。
現在まで『プワゾンの匂う女』『柩の中の猫』『夜ごとの闇の奥底で』など長編小説、短編集、エッセイ集を上梓している。
『欲望』2005 年、『無花果の森』2014 年、『無伴奏』『二重生活』2016 年に映画化。

受賞作品

１９８９年　『妻の女友達』第４２回・日本推理作家協会賞短編部門
１９９５年　『恋』第１１４回・直木賞
１９９８年　『欲望』第５回・島清恋愛文学賞
２００６年　『虹の彼方』第１９回・柴田錬三郎賞
２０１２年　『無花果の森』第６２回・芸術選奨文部科学大臣賞
２０１３年　『沈黙のひと』第４７回・吉川英治文学賞

主な作品

『知的悪女のすすめ　翔びたいあなたへ』山手書房（1978）・角川文庫（1981）
『午後 8 時の女たちへ 続・知的悪女のすすめ』山手書房（1978）
『愛と自立のはざまで』日本ジャーナリスト専門学院出版部（1979）
『とらわれない愛』広済堂出版（1979）・『悪の愛情論-とらわれない愛』角川文庫（1982）
『素肌でシェリー酒を 新・知的悪女のすすめ』山手書房（1979）・角川文庫（1982）
『その結婚をする前に』東京白川書院（1981）
『いとしき男たちよ』ダイナミックセラーズ(1982)・集英社文庫（1984）
『悪女と呼ばれた女たち 阿部定から永田洋子・伊藤素子まで』主婦と生活社（1982）
『悪女と呼ばれた女たち』集英社文庫（1986）
『愛は眠らせたくない 知的悪女のすすめ』角川文庫（1983）
『結婚アウトサイダーのすすめ 男と女の新しい関係』角川文庫(1983)
『恋人と逢わない夜に』集英社文庫（1984）
『第三水曜日の情事』角川文庫（1985）
『あなたから逃れられない』集英社文庫（1985）

『彼女が愛した男』角川ノベルス（1986）・角川文庫（1988）
『二人で夜どおしおしゃべり』角川文庫　（1987）
『蠍のいる森』集英社文庫（1987）
『仮面のマドンナ』角川文庫（1987）
『彼方の悪魔』中央公論新社（1987）・中公文庫（1991）・双葉文庫（2021）
『見えない情事』中央公論新社（1988）・中公文庫（1992）・双葉文庫（2021）
『墓地を見おろす家』角川文庫（1988）・角川ホラー文庫（1993）
『プワゾンの匂う女』徳間書店（1988・1991）・光文社文庫（1997）
『間違われた女』祥伝社ノン・ポシェット（1988）・【新装版】祥伝社文庫（2011）
『あなたに捧げる犯罪』双葉社（1989）・双葉文庫（1992）
『キスより優しい殺人』勁文社（1989）・徳間文庫（1999）
『死者はまどろむ』講談社ノベルス（1989）・集英社文庫（1993）
『双面の天使』集英社文庫（1989）
『窓辺の蛾』実業之日本社（1989）
『殺意の爪 比呂子に何が起きたか?』光文社カッパ・ノベルス（1989）徳間文庫（1998）
『闇のカルテット』双葉社（1989）・双葉文庫（1992）
『やさしい夜の殺意』中央公論新社（1990）・中公文庫（1993）・双葉社文庫（2020）
『無伴奏』集英社（1990）・集英社文庫（1994）・新潮文庫（2005）
『柩の中の猫』白水社（1990）・新潮文庫（1996）・集英社文庫（2004）
『恐怖配達人』双葉社（1990）・新装版：双葉文庫（1993）
『猫を抱いて長電話』角川文庫（1991）
『唐沢家の四本の百合』中央公論社（1991）・中公文庫（1995）・徳間文庫（2001）・双葉社文庫（2020）
『会いたかった人』祥伝社ノン・ポシェット（1991）
『懐かしい骨』双葉社（1992）・双葉文庫（1994）
『夜ごとの闇の奥底で』新潮社（1993）・新潮文庫（1996）
『ナルキッソスの鏡』集英社（1993）・集英社文庫（1996）
『恐怖に関する四つの短編』実業之日本社（1993）『倒錯の庭』集英社文庫（1996）
『追いつめられて』祥伝社ノン・ポシェット（1993）・【新装版】祥伝社文庫（2022）
『危険な食卓』集英社（1994）・集英社文庫（1997）
『死に向かうアダージョ』双葉社（1994）・双葉文庫（1997）
『贅肉』中央公論新社（1994）・中公文庫（1997）
『妻の女友達』集英社文庫（1995）
『記憶の隠れ家』講談社（1995）・講談社文庫（1998）
『怪しい隣人』集英社（1995）・集英社文庫（1998）
『深夜のネコ』河出書房新社（1995）・河出文庫（1998）
『恋』早川書房（1995）・ハヤカワ文庫 JA（1999・2013）・新潮文庫（2002）
『水無月の墓』新潮社（1996）・新潮文庫（1999）
『うわさ』光文社（1996）・光文社文庫（1998）
『倒錯の庭』集英社文庫（1996）

『男と女 小説と映画にみる官能風景』中央公論新社（1996）・中公文庫（1998）
『小池真理子短篇セレクション』全6巻　河出書房新社（1997）・集英社文庫
『欲望』新潮社（1997）・新潮文庫（2000）
『美神（ミューズ）』講談社（1997）・講談社文庫（2000）
『危険な食卓・鍵老人』集英社（1997）
『律子慕情』集英社（1998）・集英社文庫（2000）
『蜜月』新潮社（1998）・新潮文庫（2001）
『水の翼』幻冬舎（1998）・幻冬舎文庫（2002）・新潮文庫（2004）
『ひるの幻よるの夢』文藝春秋（1999）・文春文庫（2002）
『冬の伽藍』講談社（1999）・講談社文庫（2002）
『薔薇船』早川書房（1999）・ハヤカワ文庫JA（2003）
『Innocent』新潮社（1999）・『イノセント』新潮文庫（2006）
『月狂ひ』新潮社（2000）・『浪漫的恋愛』新潮文庫（2003）
『ノスタルジア』双葉社（2000）・双葉文庫（2000）・講談社文庫（2005）
『薔薇の木の下』徳間書店（2000）・徳間文庫（2002）
『いとおしい日々』徳間書店（2000）・徳間文庫（2005）
『蔵の中』祥伝社文庫（2000）
『天の刻（とき）』文藝春秋（2001）・文春文庫（2004）
『午後のロマネスク』祥伝社（2001）・祥伝社文庫（2003）
『肉体のファンタジア』集英社（2001）・集英社文庫（2003）
『忘我のためいき 私の好きな俳優たち』講談社（2001）
『映画は恋の教科書』講談社文庫（2004）
『薔薇いろのメランコリヤ』角川書店（2001）・角川文庫（2003）
『狂王の庭』角川書店（2002）・角川文庫（2005）
『夜の寝覚め』集英社（2002）・集英社文庫（2005）
『小池真理子のミスティ』ハヤカワ文庫JA（2002）
『虚無のオペラ』文藝春秋（2003）・文春文庫（2006）
『小池真理子のラウンド・ミッドナイト』ハヤカワ文庫JA（2003）
『小池真理子のマスカレード』ハヤカワ文庫JA（2003）
『小池真理子のエンジェル・アイズ』ハヤカワ文庫JA（2003）
『一角獣』角川書店（2003）・角川文庫（2006）
『レモン・インセスト』光文社（2003）・光文社文庫（2006）
『瑠璃の海』集英社（2003）・集英社文庫（2006）
『雪ひらく』文藝春秋（2004）・文春文庫（2007）
『恋愛映画館』講談社（2004）・講談社文庫（2007）
『夜は満ちる』新潮社（2004）・新潮文庫（2007）・集英社文庫（2017）
『エリカ』中央公論新社（2005）・中公文庫（2008）
『夏の吐息』講談社（2005）・講談社文庫（2008）
『愛するということ』幻冬舎（2005）・幻冬舎文庫（2007）

『闇夜の国から二人で舟を出す』（エッセイ）新潮社（2005）・新潮文庫（2008）
『青山娼館』角川書店（2006）・角川文庫（2009）
『虹の彼方』毎日新聞社（2006）・集英社文庫（2008）
『秘密 対談集』講談社（2006）・講談社文庫（2009）
『玉虫と十一の掌篇小説』新潮社（2006）・新潮文庫（2009）
『美しい時間 時の銀河』幻冬舎（2006）・『美しい時間』文春文庫（2008）
『水底の光』文藝春秋（2007）・文春文庫（2009）
『望みは何と訊かれたら』新潮社（2007）・新潮文庫（2010）
『くちづけ』出版芸術社（2008）
『午後の音楽』集英社（2008）・集英社文庫（2011）
『ふたりの季節』幻冬舎（2008）
『ストロベリー・フィールズ』中央公論新社（2009）・中公文庫（2012）
『熱い風』集英社（2009）・集英社文庫（2012）
『東京アクアリウム』中央公論新社（2010）・中公文庫（2013）
『存在の美しい哀しみ』文藝春秋（2010）・文春文庫（2013）
『Kiss－接吻』 新潮社（2010）・新潮文庫（2013）
『無花果の森』日本経済新聞出版社（2011）
『小池真理子怪奇幻想傑作選 1　懐かしい家』角川ホラー文庫（2011）
『小池真理子怪奇幻想傑作選 2　青い夜の底』角川ホラー文庫（2011）
『沈黙のひと』文藝春秋（2012）・文春文庫（2015）
『二重生活 = Double Life』角川書店（2012）
『ソナチネ』文藝春秋（2014）・文春文庫（2017）
『怪談』集英社（2014）・集英社文庫（2017）
『千日のマリア』講談社（2015）・講談社文庫（2017）
『モンローが死んだ日』毎日新聞出版（2015）
『感傷的な午後の珈琲』河出書房新社（2017）・河出書房新社文庫（2019）
『異形のものたち』角川書店（2017）・KADOKAWA 文庫（2020）
『死の島』文藝春秋（2018）
『神よ憐れみたまえ』新潮社（2021）・新潮文庫（2023）
『月夜の森の梟』朝日新聞出版（2021）
『アナベル・リイ』角川書店（2022）・角川ホラー文庫（2024）
『日暮れのあと』文藝春秋（2023）
『ウロボロスの環』集英社（2025）

◇　小池真理子短篇セレクション【全６巻】河出書房新社（1997）・集英社文庫（2002）
【第１巻】『会いたかった人』
【第２巻】『ヒグラシ荘の女主人』（官能篇）
【第３巻】『命日』（幻想篇）
【第４巻】『妻の女友達』（ミステリー篇）
【第５巻】『夢のかたみ』（ノスタルジー篇）
【第６巻】『贅肉』（サイコ・サスペンス篇Ⅱ）

◇　小池真理子短篇ミステリ傑作集
①『小池真理子のミスティ』　ハヤカワ文庫 JA　(2002/12)
②『小池真理子のラウンド・ミッドナイト』　ハヤカワ文庫 JA　(2003/1)
③『小池真理子のマスカレード』　ハヤカワ文庫 JA　(2003/2)
④『小池真理子のエンジェル・アイズ』ハヤカワ文庫 JA　(2003/3)

◇　怪奇幻想傑作選
①『懐かしい家』角川ホラー文庫・(2011/5/25)
②『青い夜の底』角川ホラー文庫・(2011/11/25)